

# HSBC 中国人民元ファンド

追加型投信／海外／債券

## 償還交付運用報告書

第5期（償還日 2015年11月10日）

作成対象期間

（2015年6月23日～2015年11月10日）

### 受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「HSBC 中国人民元ファンド」は、この度、信託約款の規定に基づき、繰上償還の運びとなりました。

当ファンドは、「HSBC 中国人民元マザーファンド」への投資を通じて、人民元建債券等で運用する投資信託証券をはじめ複数の投資信託証券に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指す投資方針に沿い、当期の運用を行いました。

ここに運用状況と償還内容をご報告いたしますとともに、これまでのご愛顧に対し厚くお礼申し上げます。

償還日（2015年11月10日）	
償還価額	14,923円42銭
純資産総額	118百万円
第5期	
騰落率	-4.4%
分配金	－円

（注）騰落率は収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

▶当ファンドは、信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、弊社のHP（ホームページ）で下記の手順でご覧いただけます。

<閲覧方法>

右記URLにアクセス⇒HP左上の「基準価額」を選択⇒償還ファンド欄の当ファンドの「運用報告書」（アイコン）を選択⇒「交付運用報告書・運用報告書（全体版）」の一覧の最新の運用報告書（全体版）を選択すると、当該運用報告書（全体版）を閲覧・ダウンロードすることができます。※将来、HPの見直し等により、閲覧方法が変更になる場合があります。

▶運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

### HSBC投信株式会社

東京都中央区日本橋3-11-1 HSBCビルディング  
《お問い合わせ先（クライアントサービス本部）》  
電話番号：03-3548-5690  
（営業日の午前9時～午後5時）  
ホームページ：www.assetmanagement.hsbc.com/jp

**HSBC**   
Global Asset Management

# 《償還交付運用報告書 目次》

	頁
◆運用経過◆	1
▶ 基準価額等の推移について	
▶ 基準価額の主な変動要因	
▶ 1万口当たりの費用明細	
▶ 最近5年間（設定来）の基準価額等の推移について	
▶ 投資環境について	
▶ ポートフォリオについて	
▶ ベンチマークとの差異について	
◆お知らせ◆	5
◆当ファンドの概要◆	6
◆（参考情報）代表的な資産クラスとの騰落率の比較◆	7
◆当ファンドのデータ◆	8
▶ 当ファンドの組入資産の内容	
▶ 組入ファンド等	
▶ 種別構成等（【資産別配分】【国別配分】【通貨別配分】）	
▶ 純資産等	
▶ 組入上位ファンドの概要 ◆HSBC 中国人民元マザーファンド	
▶ 基準価額の推移	
▶ 1万口当たりの費用明細	
▶ 種別構成等（【資産別配分】【国別配分】【通貨別配分】）	
▶ 組入ファンド	
▶ マザーファンドにおける組入上位ファンドの概要 <参考情報>	
◆ HSBC グローバル・インベストメント・トラスト-HSBC RMB債券・ファンドクラスI USD （「HSBC RMB債券・ファンド」）	
◆指数に関して◆	12
▶ 「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について	

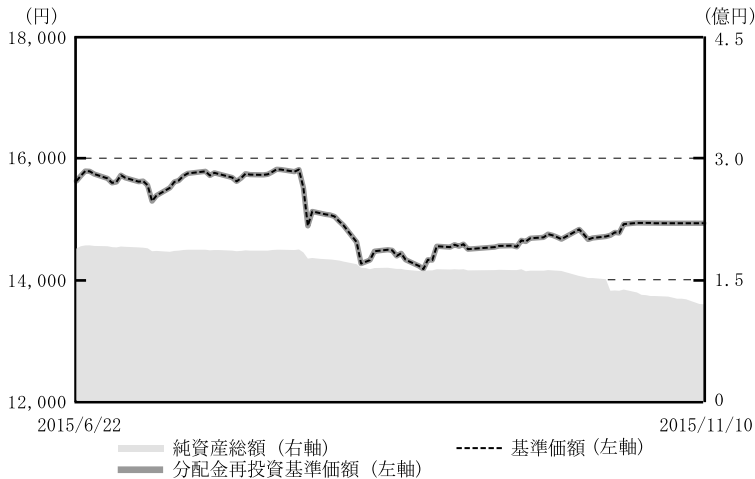
## ◆運用経過◆

## 基準価額等の推移について

(第5期：2015年6月23日～2015年11月10日)

## ＜基準価額の動き＞

基準価額は、期首（2015年6月22日）の15,615円から償還時（2015年11月10日）は14,923円42銭となり、分配金再投資ベースの基準価額は期首に比べ、4.4%の下落となりました。



第5期首 (2015/ 6/22) : 15,615円  
 償還日 (2015/11/10) : 14,923円42銭  
 (既払分配金 - 円)  
 騰落率: -4.4%  
 (分配金再投資ベース)

\* 分配金再投資基準価額は、収益分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するか否かについてはそれぞれの受益者が利用されるコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。左のグラフの推移はそれぞれの受益者の損益状況を示すものではありません。

- ・分配金再投資基準価額は、2015年6月22日の値を基準価額 (15,615円) と同一になるように指数化しております。
- ・基準価額と分配金再投資基準価額は同一に推移しております。

## 基準価額の主な変動要因

## ＜下落要因＞

- ・オフショア人民元の対円での下落。
- ・オフショア人民元債券の利回り上昇 (債券価格の下落)。

## 1万口当たりの費用明細

項目	第5期		項目の概要
	2015/6/23～2015/11/10		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	65円	0.429%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は15,072円です。
（投 信 会 社）	(31)	(0.208)	ファンドの運用等の対価
（販 売 会 社）	(31)	(0.208)	分配金・換金代金の支払い、運用報告書等の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受 託 会 社）	( 2)	(0.012)	運用財産の管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	0	0.003	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
（投資信託証券）	( 0)	(0.003)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) その他費用	12	0.080	(c) その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	( 0)	(0.002)	海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡費用
（監 査 費 用）	( 3)	(0.018)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	( 9)	(0.060)	振替制度に係る費用、印刷業者に支払う法定書類に係る費用等
合計	77	0.512	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加設定・一部解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

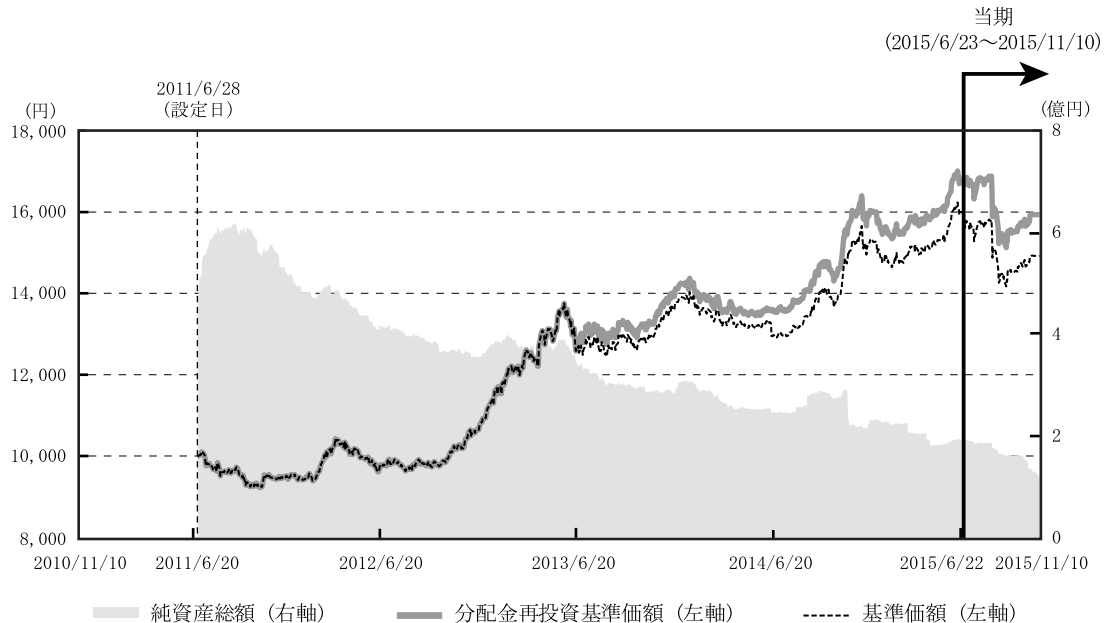
(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各項目の費用は、マザーファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(注4) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注5) 「投信会社」は、以下、「委託者」、「委託会社」という場合があります。

## 最近5年間（設定来）の基準価額等の推移について（2011年6月28日～2015年11月10日）



- ・分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を再投資したものと計算しております。実際のファンドにおいては、分配金を再投資するか否かは受益者ごとに異なり、また課税条件によっても異なるため、分配金再投資基準価額は一律にそれぞれの受益者の損益状況を示すものではない点にご留意ください。
- ・当ファンドは特定のベンチマークを設定し運用を行うものではありません。このためベンチマークを設定していません。

	2011/6/28 (設定日)	2012/6/20	2013/6/20	2014/6/20	2015/6/22	2015/11/10
基準価額（円）	10,000	9,756	12,536	12,947	15,615	14,923.42
期間分配金合計（税込み）（円）	—	0	300	300	300	—
分配金再投資基準価額の騰落率（％）	—	△2.4	31.6	5.7	22.9	△4.4
純資産総額（百万円）	470	412	334	243	187	118

- ・分配金再投資基準価額の騰落率は、分配金（税込み）を再投資したものと計算しております。実際のファンドにおいては、分配金を再投資するか否かは受益者ごとに異なり、また課税条件によっても異なるため、上記の騰落率は一律に受益者の損益状況を示すものではない点にご留意ください。
- ・期間分配金合計および騰落率においては、年間の値を表示しております。ただし、2012/6/20の騰落率については、設定日以降当該日までの値を表示しております。なお、2015/11/10の騰落率については前期末以降償還日までの値を表示しております。

## 投資環境について

### 【債券・為替市況】

#### <第1期>

オフショア人民幣債券市場は、米国の大手格付会社S & Pによる米国債の格付引き下げや欧州債務危機を巡る不透明感などの悪材料及び中国人民銀行（中央銀行）による預金準備率の引き下げなどの好材料が拮抗し、期を通じてほぼ横ばいの動きとなりました。為替市場では、米国債の格下げや欧州債務問題から円が堅調となり、オフショア人民幣は対円で小幅下落しました。

#### <第2期>

中央銀行が追加利下げを行ったことや米連邦準備制度理事会（FRB）が量的緩和を実施したことなどを受け、オフショア人民幣債券市場は堅調な推移となりました。また、為替市場では、日本銀行が大幅な金融緩和策を打ち出したことから円安が進み、オフショア人民幣は対円で大幅上昇となりました。

#### <第3期>

上海での自由貿易試験区の設定、人民幣の兌換（だかん）性の向上、中国の金利自由化に進展があり、また一段の金利自由化への期待も加わり、オフショア人民幣債券市場は堅調な推移となりました。また、為替市場では、米国が量的緩和の規模の縮小を表明したことから米ドル高が進み、米ドルに連動する形でオフショア人民幣は対円で底堅い動きとなりました。

#### <第4期>

中国の景気減速を背景に、中央銀行は政策金利の引き下げや預金準備率の引下げなどを実施しました。オフショア人民幣債券市場はこれらを好感し、堅調な展開となりました。為替市場では、米ドル高が進んだことからオフショア人民幣は米ドルに連動する形で対円で大幅高となりました。

#### <第5期>

中央銀行は、人民幣の対米ドル基準値の算出方法を変更し人民幣を切り下げました。これを受け、市場では人民幣の先行きに対する不透明感や中国景気に対する懸念が広がり、オフショア人民幣債券市場は軟調となりました。また為替市場ではオフショア人民幣は対円で下落しました。

## ポートフォリオについて

### <HSBC 中国人民幣ファンド>（当ファンド）

第1期から第5期の間、「HSBC 中国人民幣マザーファンド」への投資を通じて、主に中国本土以外の市場で発行される人民幣建ての債券に投資しました。

### <HSBC 中国人民幣マザーファンド>

第1期から第4期の2015年3月までの間、米ドル建てのケイマン籍外国投資信託「HSBCグローバル・インベストメント・トラスト-HSBC RMBボンド・ファンド-クラスI USD」（以下、「HSBC RMBボンド・ファンド」）への投資比率を高位に維持しました。また投資資金の一部を国内外の公社債を主要投資対象とするわが国の証券投資信託「HSBCマネープールファンド（適格機関投資家専用）」に投資し、キャッシュ比率は2～6%程度としました。

2015年3月から第5期の2015年10月までは「HSBC RMBボンド・ファンド」への投資比率を高位に維持するとともに、「HSBCマネーブルファンド（適格機関投資家専用）」に替えてオフショア人民元建債券の上場投資信託（ETF）への少額の投資を行いました。2015年10月には、11月の当ファンドの償還に向けてこれら投資対象ファンドを売却し、キャッシュによる安定運用に切り替えました。

「HSBC RMBボンド・ファンド」への期間中、同ファンドにおいては、高い信用力を持ち、割安で、残存期間が比較的短いオフショア人民元建銘柄を中心とした組入れを行いました。

### ベンチマークとの差異について

当ファンドは、特定のベンチマークを設定し運用を行うものではありません。このためベンチマークはありません。

### ◆お知らせ◆

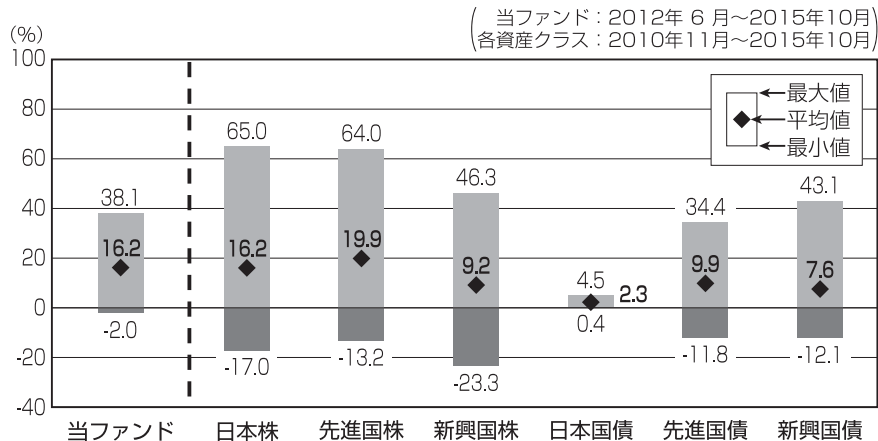
<約款変更のお知らせ> ありません。  
<その他のお知らせ> ありません。

## ◆当ファンドの概要◆

商 品 分 類	追加型投信／海外／債券	
信 託 期 間	2011年6月28日～2015年11月10日（当初、2021年6月21日）	
運 用 方 針	HSBC 中国人民币元ファンド（「ベビーファンド」）は、HSBC 中国人民币元マザーファンド（「マザーファンド」）への投資を通じて、人民元建債券等で運用する投資信託証券をはじめ複数の投資信託証券に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。	
主 要 投 資 対 象	ベ ビ ー フ ァ ン ド	マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マ ザ ー フ ァ ン ド	米ドル建てのケイマン籍外国投資信託「HSBC グローバル・インベストメント・トラスト- HSBC RMB ボンド・ファンド- クラス I USD」（「HSBC RMB ボンド・ファンド」）に投資し、また、ETF（上場投資信託）にも投資します。
ベビーファンドの運用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</li> <li>・人民元以外の通貨で決済される債券等に投資する場合があります。</li> </ul>	
分 配 方 針	<p>年1回の決算時（毎年6月20日、休業日の場合は翌営業日）に、原則として以下の方針に基づき、分配を行います。</p> <p>①分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>②分配金額は、委託者が基準価額水準・市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないことがあります。</p> <p>③留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。</p>	



## ◆ (参考情報) 代表的な資産クラスとの騰落率の比較 ◆



グラフは、当ファンドについては上記記載の期間、代表的な資産クラスについては上記記載の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を表示したものです。

- ・上記は、当ファンドの騰落率と代表的な資産クラスの騰落率を比較したものであり、各資産クラスは当ファンドの投資対象を表しているものではありません。
- ・当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。
- ・騰落率は直近月末から60ヶ月（当ファンドは上記記載の期間）遡った算出結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値と異なります。
- ・海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

## 【各資産クラスの指数】

日本株：東証株価指数(TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円換算ベース)

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円換算ベース)

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：シティ世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)

新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド(円換算ベース)

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

◆当ファンドのデータ◆

(2015年11月10日現在)

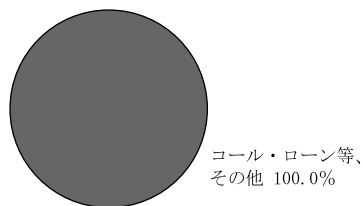
当ファンドの組入資産の内容

組入ファンド等

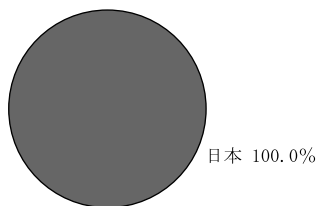
信託終了日における有価証券等の組入れはありません。

種別構成等

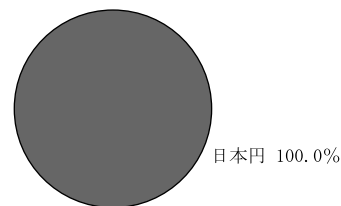
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



- ・配分は当ファンドの純資産総額に対する比率です。
- ・国別配分は国・地域別による配分です。

純資産等

項目	償還日
	2015年11月10日
純資産総額	118,938,847円
受益権総口数	79,699,473口
1万口当たり償還価額	14,923円42銭

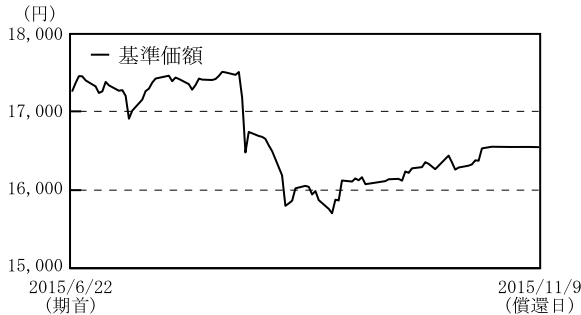
(注) 期中における追加設定元本額は3,133,922円、一部解約元本額は43,724,793円です。

## 組入上位ファンドの概要

◆HSBC 中国人民币元マザーファンド（計算期間 2015年6月23日～2015年11月9日）

※償還時における組入ファンドはありません。以下のデータは、主要投資対象の「HSBC 中国人民币元マザーファンド」の償還日現在のものです。

## 基準価額の推移



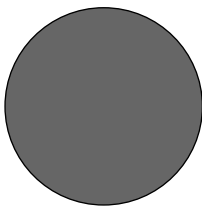
## 1万口当たりの費用明細

項目	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (投資信託証券)	0円 ( 0 )	0.003% (0.003)
(b) その他費用 (保管費用)	2 ( 2 )	0.010 (0.010)
(その他)	( - )	(0.000)
合計	2	0.013

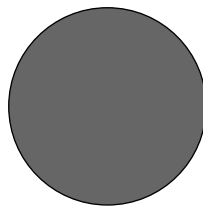
- ・1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの最終の決算期のものです。
- ・期中のマザーファンドの平均基準価額は16,694円です。
- ・各項目の費用は、マザーファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。
- ・各項目ごとに円未満は四捨五入しております。なお、費用項目の概要については、2ページをご参照ください。
- ・「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## 種別構成等

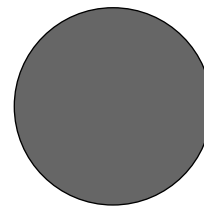
## 【資産別配分】



## 【国別配分】



## 【通貨別配分】



- ・配分は当ファンドの純資産総額に対する比率です。
- ・国別配分は国・地域別による配分です。

## 組入ファンド

信託終了日における有価証券当の組入れはありません。

マザーファンドにおける組入上位ファンドの概要

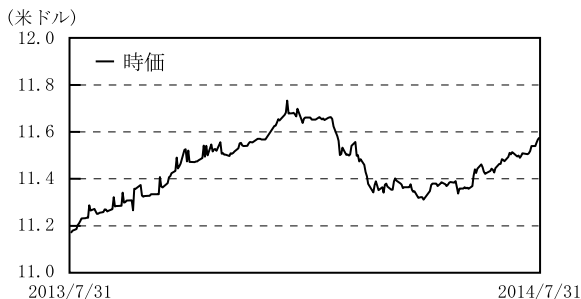
<参考情報>

◆HSBC グローバル・インベストメント・トラスト-HSBC RMBボンド・ファンド-クラス I USD  
 (「HSBC RMBボンド・ファンド」)

※償還時における組入ファンドはありません。以下のデータは、主要投資対象ファンドの監査済み資料として作成時現在で入手できる直近の計算期間に関する情報です。

(計算期間 2013年8月1日～2014年7月31日)

基準価額の推移



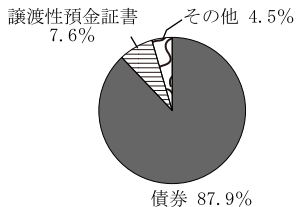
・上記は単位当たりの純資産額（米ドル）で表示しています。

1万口当たりの費用明細

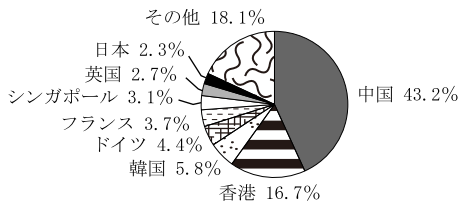
当該情報の取得ができないため、掲載はしていません。

種別構成等

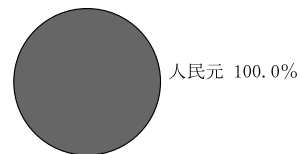
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



・上記配分は、「HSBC RMBボンド・ファンド」の直近決算日現在のものです。また、「HSBC RMBボンド・ファンド」の純資産額に対する比率です。表示単位未満を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。なお、「HSBC RMBボンド・ファンド」を含む全てのシェアクラスを合算して計算しております。

・国別配分は、国・地域による配分です。  
 ・通貨別配分は、キャッシュ等を除きます。

## 組入上位銘柄

(組入銘柄数：136)

	発行体／銘柄名	種類	業種	クーポン	償還日	組入比率
1	中国聯合網絡通信(香港)	債券	電気通信サービス	4%	2017/04/16	1.5%
2	キャタピラー・ファイナンシャル・サービス	債券	金融	3.25%	2015/06/26	1.4%
3	シノケム・オブショア・キャピタル	債券	金融	3.55%	2017/05/13	1.3%
4	龍湖地産	債券	不動産	6.75%	2018/05/28	1.3%
5	グローバル・ロジスティック・プロパティーズ	債券	不動産	3.375%	2016/05/11	1.3%
6	ノーブル・グループ	債券	資本財	4%	2016/01/30	1.3%
7	中国広核集団	債券	公益	3.75%	2015/11/01	1.3%
8	スターウェイ・アセット・エンタープライジス	債券	金融	4.1%	2017/01/22	1.3%
9	マイクン・インベストメント	債券	金融	4.5%	2017/06/06	1.3%
10	エア・リキード・ファイナンス	債券	金融	3%	2016/09/19	1.2%

- ・上記組入上位10銘柄は「HSBC RMBボンド・ファンド」の直近決算日現在のものです。
- ・組入比率は「HSBC RMBボンド・ファンド」の純資産額に対する割合です。
- ・全銘柄に関する情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されております。

## ◆指数に関して◆

## ＜「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について＞

## ▶東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）は、株式会社東京証券取引所の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利および東証株価指数（TOPIX）の商標または標章に関するすべての権利は、株式会社東京証券取引所が有しています。なお、当ファンドは、株式会社東京証券取引所により提供、保証または販売されるものではなく、株式会社東京証券取引所は、当ファンドの発行または売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

## ▶MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円換算ベース）

## ▶MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）

MSCIコクサイ・インデックス、MSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc. が公表しているインデックスで、その著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

## ▶NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債は、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

## ▶シティ世界国債インデックス（除く日本、円換算ベース）

シティ世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、Citigroup Index LLCに帰属します。

## ▶JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円換算ベース）

JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイドに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、J.P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。